

第417輯

わが町三原

みほろ歴史と観光の会

平成33年3月創刊
月刊

令和7年

12月号

倉敷市玉島にバス研修旅行



〔 倉敷市玉島の地酒「燦然」の酒造会社店頭にて 〕

2025.11.05 撮影 西村雅幸(沼田東町)

11月5日、三原市同様に干拓地に開けた町倉敷市玉島地区を訪問した。由緒ある寺や神社を訪問した後、岡山県指定の町並み保存地域で長い歴史を持つ商家を歴訪した。味噌醤油店、酒造、紙店、倉庫の先々で大型モニター等による詳しい解説を受け、お土産を買い込んだり、容器店では木桶の製作体験もして、伝統ある玉島の空気を存分に楽しむことができた秋のバス研修旅行であった。

十二月の行事

各地会

～28日(日) ポポロ冬の祭り Winter Illumination 2025

～2月28日(土) 三原港 Winter Illumination

勉強会は休講とします

- | | | |
|------|---------------------------|---------------|
| P 1 | 表紙…表題： 倉敷市玉島にバス研修旅行 | 行事予告 |
| | 写真： 倉敷市玉島の地酒「燦然」の酒造会社店頭にて | |
| 2 | 猛暑と終戦80年の 令和7年 | 市川市 下西 勝彦 |
| 3~13 | 市郷連 春期歴史講演会 | 広島市文化振興課 山岡 渉 |
| | 「石垣の石材属性から見えてくるもの」(完結編) | |
| 14 | 会よりの便り | 事務局 |



しわす

師走

今月の各地



きのと み

乙巳

むら くら。

AJ2685

令和七年

AD2025

まち まち

歳時記

猛暑と終戦80年の令和7年

市川市

下西 勝彦

今年の8月は、猛暑と終戦80周年記念の報道で、一杯でした。広島県も、連日、沖縄よりも暑い日々と、放映されていました。

終戦80年、「原爆」研究者の一人、ロバート・オッペンハイマー氏の孫・チャールズさんが、広島を訪問した記事が、掲載されました。

まず、平和記念公園を訪れ、祖父は「人類は、原子爆弾を決って使ってはならない」と、常に発言していたと、語りました。

その後、市内を遊覧し、こうも話しました。「広島を街を見て、ひどい戦争や、爆弾の後でも、ここまで美しい状態に、戻せるんだと希望を感じた」…この感想に、一瞬、違和感を覚えました。はたと気付きました。チャールズさんは、50歳です。彼にとって、原爆は学ぶべき「歴史」であり、広島を街の美しい現状は、自分がこれから目指す「希望」なんだと、理解しました。

さて私は83才です。たしかに、私の「今」は、思い出と「歴史」ばかりです。どうか、広島を若者たちは「歴史」に学ぶと共に、広島を「明日」にも、取り組んで欲しいなど、改めて、感じました。

三原市の古い「市歌」1番は“朝日に映ゆる櫻山”ですが、2番は“♪増産、励む工場に、真理、華咲く科学陣”でした。私が、高校生の頃の「三原」は、セメント・重工業・繊維・人絹…の街でした。あの活気を、取り戻せるように、若者たち、頑張ってください。

それにしても、今年の8月、佐木島「トライアスロン」は、西条のお医者さんと、同じ西条のご婦人が、ボランティアとして協力して、開催して下さったとは、有り難いやら、えつ、どうして？ やら…少し、胸が、痛みました。

レキカンだより

みはら歴史と観光の会

723-0051 三原市宮浦6丁目 9-32

令和7年12月

検索

わが町三原

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンは新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行 事 報 告

- 10月27日 月報発送配布作業(後、大原、岡田、小川、川上、桑田、小森、正田哲、瀬畑、西村、高杵、松竹、三好他)
- 11月03日 11月度理事会(秋のバス研修旅行の件他)
- 11月15日 京覧カントリークラブ入口花壇整備(瀬畑)

行 事 予 定

1. 勉強会

12月の勉強会は、都合により休講とします。

2. 令和8年 初日の出拝(NPO法人浮城桜山会と共同)

01月01日 07:20 頃

桜山頂上にて初日の出が拝めます。

初日に向かって、気持ちも新たに、明るく新年を迎えましょう！

申し込みおよび会費不要。

参加者募集！！



〔桜山山頂の初日の出〕

「わが町 三原」への投稿募集 !

「わが町三原」では、会員の皆様からの投稿を募集しております。

テーマの例(デジタルデータを歓迎しますが、手書きでも可とします)

- ・ 身近にある伝統行事、史跡、言い伝え等の紹介。
- ・ 古文書の解説、従来定説となっていた歴史上の出来事等に関するご自分の調査結果(文献調査結果の場合は文献名明記)報告。
- ・ 三原市に関係する歴史や観光の講演記録など。

政治色や宗教色の濃いテーマはご遠慮ください。

執筆御礼 掲載された月報3冊程度を贈呈とします。

